
 4種類の耕作体系に
おける土壌有機炭素量変化

1. 識別情報

名称	4種類の耕作体系における土壌有機炭素量変化
版	1.0
メタデータID	JP_NIAES_RicePaddy_SoilOrganicMatterThailand20230727091503-ja

2. 問合せ先

2.1 データセットに関する問合せ先

名前	須藤 重人
組織名	国立研究開発法人農業環境技術研究所
住所	日本, 305-8604, 茨城県, つくば市, 観音台 3-1-3
電話番号	+81-29-838-8181
ファクシミリ番号	+81-29-838-8199
電子メールアドレス	ssudo@affrc.go.jp

名前	須藤 重人
組織名	国立研究開発法人農業環境技術研究所
住所	日本, 305-8604, 茨城県, つくば市, 観音台 3-1-3
電話番号	+81-29-838-8181
ファクシミリ番号	+81-29-838-8199
電子メールアドレス	ssudo@affrc.go.jp

2.2 プロジェクトに関する問合せ先

3. ドキュメント作成者

名前	須藤 重人
組織名	国立研究開発法人農業環境技術研究所
電子メールアドレス	ssudo@affrc.go.jp

名前	須藤 重人
組織名	国立研究開発法人農業環境技術研究所
電子メールアドレス	ssudo@affrc.go.jp

4. データ作成者

名前	須藤 重人
組織名	国立研究開発法人農業環境技術研究所
電子メールアドレス	ssudo@affrc.go.jp

名前	須藤 重人
組織名	国立研究開発法人農業環境技術研究所
電子メールアドレス	ssudo@affrc.go.jp

5. ドキュメント作成年月日

2023-07-27

6. データ作成年月日

creation : 2016-03-01

7. データセット概要

7.1 序論

内容：4種類の耕作体系における土壌有機炭素量変化データ

期間：2009年～現在（2015年）

要素：有機炭素量（%），窒素量（%）

場所：タイ・キングモンクット大学トンブリ校ラチャブリキャンパス実験圃場

時間頻度：年1回

深さ：0-15cm, 15-30cm

7.2 トピックカテゴリ (ISO19139)

environment

geoscientificInformation

7.3 時間情報

開始日	2009-01-01
終了日	2015-12-31
時間分解能	Annual

7.4 地理的範囲

北限緯度	13.58
------	-------

西限経度	99.5
東限経度	99.5
南限緯度	13.58

7.5 グリッド

7.6 地理情報を識別する名称

7.7 キーワード

7.7.1 データセットに関連するキーワード

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	Land Surface > Soils > Organic Matter, Land Surface > Soils > Carbon, Land Surface > Soils > Nitrogen, Land Surface > Soils > Soil Fertility	GCMD_science

7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

7.8 データセットに関するオンライン情報

DIASファイルダウンロードサイト : <https://data.diasjp.net/dl/storages/filelist/dataset:246>

7.9 データ周辺情報

7.10 データ配布情報

配布識別名	配布バージョン	配布に関する説明
-------	---------	----------

8. 系譜情報

9. 品質等

10. 利用規約

10.1 データ提供者によるデータ利用規約

1. 利用者は、データ提供者が示すデータ利用規約がある場合はそれを優先し従うこと。
2. 利用者は、DIASデータセットを研究及び教育目的のみに利用し、営利などのそれ以外の目的に利用しないこと。

-
3. 利用者は、DIASデータセットの内容を改変しないこと。
 4. 利用者は、DIASデータセットを第三者に提供しないこと。
 5. 利用者は、DIASデータセットを利用した学会発表・論文発表・誌上発表・報告等を行った場合は、データ引用文に掲載されている文章をカッコ書きで引用すること。
 6. 利用者は、DIASデータセットを利用した学会発表・論文発表・誌上発表・報告等を行った場合は、公表物の写し（論文の場合は別刷り）、口頭・ポスター発表の場合は講演要旨のコピー）を下記の「連絡・送付先」に提出すること。

10.2 プロジェクトによるデータ利用規約

11. ライセンス

12. 謝辞の記載方法

12.1 データ提供者の指定による謝辞の記載方法

データを利用した結果報告書・論文等へ掲載する場合は、以下の文献を引用して 下さい。

Nittaya Cha-una, Amnat Chidthaisonga, Shigeto Sudo, Sirintornthep Towprayooona, Reducing greenhouse gas emissions and increasing soil carbon sequestration in abandoned rice field rotated with energy crop (in preparation).

12.2 プロジェクトの指定による謝辞の記載方法

13. 参考文献

Nittaya Cha-una, Amnat Chidthaisonga, Shigeto Sudo, Sirintornthep Towprayooona, Reducing greenhouse gas emissions and increasing soil carbon sequestration in abandoned rice field rotated with energy crop (in preparation).